

事務事業マネジメントシート(平成26年度実績と平成27年度計画)

平成28年 2月18日更新

事務事業名		市民農園維持管理事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	3	働く人々が輝き続けるまちづくり			所属部	事業部	課長名	岐部則夫
	施策	11	農業の振興			所属課	農政課	担当者名	井芹 和幸
	基本事業	34	関係機関との連携の強化			所属班	農政班	(内線)	1175
予算科目	会計一般	款6	項1	目10	事業連番10275	法令根拠	市民農園法 合志市市民農園条例		成果優先度評価結果 : ⑨ コスト削減優先度評価結果 : ⑥
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 26年度で終了 <input type="checkbox"/> 26年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)					

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	農園づくりの体験を通じた農業への理解と親しみを市民に普及させるため、農園を貸し出し、使用料を徴収し、農園の維持管理を行う。地産地消や安全・安心が叫ばれる中、自ら農園で作物を栽培し、農業への理解を深めてもらおうと、平成13年度に市民農園法に基づき農園を整備し翌年度より利用者を募集し貸し出ししている。21年度に区画の見直しを行い104区画となり、更に23年度には20区画を増設し、更に御代志に21区画を新設した。現在、145区画。
【業務の流れ】	募集、契約、貸し出し、使用料(調定、納付書発送、納付確認)、施設の維持管理
【主な予算費目】	賃金、需用費、消耗品費、光熱水費、修繕費、施設修繕費、燃料費、役員費、備品購入費、使用料及び賃借料
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	水道蛇口の増設や作業道具の充実など、農業体験を快適に行うための要望がある。

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
①手段(主な活動) 26年度実績(26年度に行った主な活動)(DO)	27年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)	
事務事業の概要と同じ	募集、契約、貸し出し、使用料(調定、納付書発送、納付確認)、施設の維持管理	
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由
→ア:利用区画	区画	
②対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	②対象指標(対象の大きさを表す指標)	(単位)
市民	→ア:借受者+申込者	人
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③成果指標(意図の達成度を表す指標)	(単位)
市が管理する農園で農作物の栽培が出来る。	→ア:空き区画に対する申込者の割合	倍
	→イ:(申込者数÷募集区画数)	
*③成果指標設定の理由と27年度目標値設定の根拠		総トータルコスト
市が準備した農業体験施設を市民に十分に活用してもらう必要があるため。		全体計画
		~年度
		0

(2)各指標・総事業費の推移		単位	24年度実績(決算)	25年度実績(決算)	26年度目標(当初予算)	26年度実績(決算)	27年度目標(当初予算)	28年度予定	29年度見込	30年度見込
①活動指標	ア	区画	145	145	145	145	145	145	145	145
	イ									
②対象指標	ア	人	167	151	145	151	145	145	145	145
	イ									
③成果指標	ア	倍	3.44	2	1	1.4	1	1	1	1
	イ									
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円	566	575	570	578	570	570	570
		繰入金	千円							
	(A)事業費計	一般財源	千円	430	618	477	435	473	477	477
		(A)のうち指定経費	千円	996	1,193	1,047	1,013	1,043	1,047	1,047
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
	人件費	正規職員従事人数	人	5	4	4	5	4	4	4
		延べ業務時間	時間	536	368	600	300	600	600	600
(B)人件費計		千円	2,182	1,466	2,390	1,195	2,390	2,390	2,390	
トータルコスト(A)+(B)		千円	3,178	2,659	3,437	2,208	3,433	3,437	3,437	

事務事業名	市民農園維持管理事業	所属部	事業部	所属課	農政課
-------	------------	-----	-----	-----	-----

2 評価の部 (SEE)

*原則は26年度の後評価、ただし複数年度事業は26年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①26年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した 145区画全て利用されている。	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②27年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 空き区画待ちの希望者が5名おり、今後も希望者は増える見込んでいるため。	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 成果向上を考えると利用者を増やすことを考えなければならず、23年度において福原農園増設及び御代志農園新設をしているため、更なる農地の貸し出しは難しい。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似事業がない。	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 コスト削減は事業効果の減少につながる。
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 事業効果の減少につながる。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 前年度末から、あらかじめ希望者をリストアップしておき、解約が出た都度、利用区画の案内している。また、市民のみ申込の受付をしており、利用区画面積に応じた利用料を徴収しているため、受益機会・費用負担の面において公平・公正である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 他所の市民農園や家庭菜園に比べ、本市の市民農園は格安で貸し出している。民間が当事業を行うと利益を追求しなければならないため、農園利用者にとってはマイナスになると考える。

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

あらかじめ利用希望者を担当課でリストアップしておき、空き区画が出た時点で利用希望者に利用区画を斡旋する。現時点で、解約者がいても、すぐに利用者を補充できる状態にある。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (PLAN)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p>																						